



# S.A

## 東北大学 サイエンス・アンバサダー 活動報告書 2023



表紙イラスト/凧  
(Instagram)

## 東北大学サイエンス・アンバサダーとは -About US-

東北大学サイエンス・アンバサダー(以下SAと略す)は次世代女性研究者の育成を目的として2006年に創設された制度(当初はサイエンス・エンジェル)で、本学の有志の女子大学院生(性自認が女性も含む)が総長に任命されて様々な活動を繰り広げています。例えば、SAは小中高生にセミナーやイベントで自然・人文・社会科学に携わる女性研究者の身近なロールモデルとして、科学や研究の面白さと魅力を伝え、将来の夢を育む機会を提供しています。同時にSA自身も男女共同参画やダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンに関するシンポジウムやスキルアップなどの機会を通じて自己・相互研鑽し、研究者としての使命感の意識醸成に努めています。



Tohoku University Science Ambassadors 2023

### 活動方針 -policy-



小・中学生や高校生に対して科学の魅力を伝えつつ、身近なロールモデルとなることを通じて次世代の研究者を育成



研究に従事する使命感・責任感の醸成・研究者の卵としてのスキルアップ



世代や分野を超えた女子学生・女性研究者ネットワークの構築



**Activity 1** 出張セミナー・見学対応  
主に中学生・高校生を対象に、研究や大学生活について実際の体験に基づいてお話をします。



**Activity 2** 科学イベント  
子ども向けに科学を身近に感じてもらえるような実験や工作を行い、研究への興味を喚起します。



**Activity 3** オープンキャンパス  
東北大学のオープンキャンパスにおいてセミナーを開催し、大学進学に興味を持つ中高生の疑問・相談に答えます。



**Activity 4** note  
研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が執筆しています。

### 東北大学は日本初の「女子学生」が誕生した大学です

東北大学が誕生した明治末頃の日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のための学校であり、正規の学生身分で女性が大学に入学することは考えられていませんでした。ところが、大正2年(1913)にその「常識」を破る事件が起こりました。創立間もない東北帝国大学が、独自の判断で4人の女性の受験を認めたのです。入学試験のさなか、文部省は「元来女子を帝国大学に入学せしむることは前例これ無きことにて頗る重大な事件にこれあり大いに講究を要し候」云々と事情説明を求める書簡を大学に送りますが、大学は委細かまわず、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメ3人の合格を発表、ここに日本初の「女子学生」が誕生することになったのです。3人の女子学生はやがて卒業して女性初の「学士」となり、その後も副手や大学院生として数年間大学での研究生生活を送りました。



黒田チカ 牧田らく 丹下ウメ

# 2023年度活動内容

2023.5.13(土)  
米国科学技術政策局副局長らの本学訪問



訪問者 米国科学技術政策局ケイ・コイズミ副局長  
マーク・ウェベルス在札幌米国総領事館首席領事

米国科学技術政策局副局長と対談し、東北大学ホームページで紹介されました。日本だけでなく米国でも様々な立場の女性研究者が研究を続けていく体制作りが重要視されていることを知る機会となりました。

#G7科学技術サミット #日本と米国 #女性研究者 #記念メダル

2023.6.26(月)9:45-10:45 郡仙台市長とSAの懇談会  
仙台市政だより「第46回 古今東西ぐんぐん行きます! 東北大学サイエンス・アンバサダー編」  
(令和5年8月号)掲載



会場 エル・パーク仙台5階 特別会議室  
対談者 郡 和子仙台市長

郡仙台市長と懇談し、市政だより8月号に掲載されました。SA活動の紹介とともに、次世代の女性研究者の育成についてお話しする貴重な機会となりました。

#市政だより #SAの魅力発信 #SAもぐんぐん行きます!



山田 綾

- 所属/医学系研究科運動学分野 ●SA経歴/3年
- 卒業後の進路/仙台市立小学校教諭
- 修了生コメント/今年度は仙台市長との懇談など、非常に貴重な経験をさせていただきました。進路が小学校教諭ということもあり、次年度以降のSAの皆さんと関わる機会があるかもしれないと思うとても楽しみです。SAの皆さんの今後の活躍に期待しています。

2023.10.7(土)10:00-15:40  
片平まつり2023「集まれ!未来の科学者たち!」



会場 東北大学エクステンション教育研究棟1階ロビー、DEI推進センター

東北大学Science Seekerとともに、色に関する体験型科学イベントを行い、多くの親子にご参加いただきました。

#科学実験 #わくわく #親子イベント  
#カラフル #色のふしぎ #サイエンスシーカー



今野 杏

- 所属/環境科学研究所先端環境創成学専攻 ●SA経歴/1年
- 卒業後の進路/株式会社シノテスト(研究開発職)
- 修了生コメント/一年弱と短い間でしたが、科学教室や高校訪問など多くのイベントの運営・企画に参加させて頂きました。幅広い年代の、興味関心も様々な子供達に科学の楽しさを伝えるため、自分には何が出来るか考えた貴重な経験でした。今後も相手に合わせた伝え方を考え実行に移すことを心がけ、一人ひとりと向き合っていきたいです。

2023.12.16(土)14:00-16:00  
「日本女性100年史と今のジェンダー平等」  
東北大学生による参加型朗読会+アフタートーク



会場 東北大学  
片平キャンパス さくらホール

女性の人権に関するミモザウエイズの朗読劇にSAから2名が参加しました。当時の女性を取り巻く人権問題や現在も解消されていない問題に目を向ける機会となりました。

#ミモザウエイズ #女性の権利 #笹川日仏財団  
#日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会

2024.3.30(土)OA  
東京エレクトロン宮城presents  
小島よしおのまちぶらサイエンス



日常にある不思議を科学の力で解明する番組を、今年も小島よしおさんとSAで制作しました。今回は仙台駅周辺で沢山の不思議を発見しました。

#まちぶらサイエンス #ナノテラス #猫カフェ



工藤 楓

- 所属/医学系研究科臨床加齢医学研究分野
- SA経歴/1年
- 修了生コメント/SA活動では、科学イベントやオンラインでの研究室訪問など様々な活動に参加できました。自身の研究を伝える楽しさや難しさを学ぶことができ、伝えることでより研究への理解も深まったように感じています。SA活動を通し、科学の面白さを少しでも多くの方に広げられていたら嬉しいです。

2023.7.26(水)-7.27(木) 12:00-13:30[両日]  
東北大学オープンサイエンス・アンバサダーと一緒に考える  
キャンパス2023「研究者ってなに?」~SAオープンキャンパス編~



会場 東北大学理学研究科合同A棟2階  
第2・3共通講義室(204号室、205号室)

参加者数 1日目/221名、2日目/195名(保護者含む)

今年度は4年ぶりに対面でのオープンキャンパスが開催され、たくさんの中高生が来場してくれました。

#オーキャン #研究者 #メタバース #ニュートリノ  
#リモートセンシング

2023.9.30(土) 式典/11:00-14:45 SA懇談会/15:25-16:05  
東北大学116周年ホームカミングデー  
(式典司会進行・佳子内親王殿下とSAの懇談会)



会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

東北大学116周年ホームカミングデーのイベントが進行している中で、佳子内親王殿下とSAの懇談が行われました。SAが普段行っている研究活動に非常に興味を持ってくださいました。

#日本初女子大学生 #女子大学院生 #110周年  
#佳子内親王殿下 #ドレスの色 #色素研究

出張セミナー



今年度は、山形西高等学校、奈良工業高等専門学校、星野学園中学校・高等学校へのセミナーを実施しました。SAの進路選択や現在の研究内容についてお話をしました。

#私の進路選択 #研究の面白さ #進路選択のヒント



平野 翔子

2009年3月 群馬県立前橋女子高等学校卒業  
 2013年3月 茨城大学農学部卒業  
 2015年3月 茨城大学大学院農学研究科 修士課程修了  
 2015年4月-2018年5月 食品会社勤務  
 2018年9月-2021年12月 学習塾勤務  
 2022年10月～ 東北大学大学院生命科学研究所 分子化学生物学専攻 博士後期課程

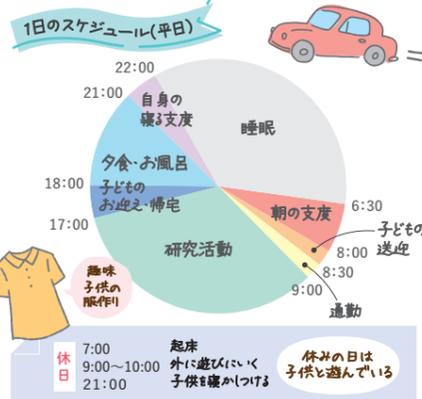
博士課程での研究と3歳のお子さんの子育てを両立されているSAの平野翔子さん。今回は女性研究者のワーク・ライフ・バランスについてお話を伺いました。

**Q.現在どのような研究を行っていますか？**  
 土壌に含まれる環境汚染物質を分解する細菌の培養を行い、自然環境に近い状態で細菌がどのように活動するのかを研究しています。また、その成果を環境浄化に応用することも目指しています。

**Q.博士課程に進学したきっかけを教えてください**  
 修士卒業後は企業に就職し、その後、結婚や出産を経験しました。修士の時から研究が好きで、今後仕事として研究がしたいという気持ちが大きくなり、博士への進学を決めました。

**Q.研究の場を一度離れているということに心配はありませんでしたか？**  
 進学については躊躇し、悩みました。しかし修士時代の指導教員に相談したところ、応援してくれたことが後押しになりました。

**Q.研究に励みながら子育てや家庭との両立はどのように行っていますか？**  
 夫と協力しながら時間をやりくりしています。平日は9時から17時まで研究を行い、帰宅後は育児や家事をしています。学会前などの特に忙しい時期は休日にも研究室に行くことがありますが、その際は夫に子どもを任せています。



～進路を選択する学生へのメッセージ～

知識は身に付けば身に付けるほど、可能性が広がります。自分が知っていると思っている事も、実際はその物事には大きな広がりがある、知らないことがたくさんあります。「知らない」ということに気づいていないのはもったいないなくて、「知らない」ことにたくさん面白いことが隠れています。自分の可能性をタフに広げてみてください。

今年度はノンバイナリー(自分の性自認に男性か女性かという枠組みをあてはめようとしない考え方)のSAが採用され、様々なイベントで活躍しています。今回は、肖俊彬さんに今年度のSA活動やジェンダーに関するお話を伺いました。

**Q.現在どのような研究を行っていますか？**  
 専攻は環境・エネルギー経済学で、金属鉱物の採掘による土地改変や環境問題についての研究を行っています。

**Q.SA活動に参加した理由は何ですか？**  
 ジェンダーに関わる活動をしてみたいと思ったからです。最初の募集では対象が女性と記載されていたため一度は諦めてしまいましたが、6月の再募集の際にDEI推進センターと連絡を取り、ノンバイナリーの自分でも所属出来るということで活動に参加しました。

**Q.ご自身がノンバイナリーであると気付いたきっかけはありましたか？**

学部生の時に所属していた野球部で、男性だけの雰囲気違和感がありました。逆に女子ソフトボール部メンバーとの空間は居心地の良さを感じていたことから、生物学的に男性ではあるものの、心は男性なのか女性なのか、決められずにいました。東北大学で出会った学生がきっかけでLGBTQ+に興味を持って調べ、修士2年の終わりにノンバイナリーであると自認しました。自認してからは、なぜ女性はスカートもパンツも履ける

のに男性は履けないのだろう？と服装に疑問を持つようになり、自分が着たい服を着るようになりました。これがきっかけで、性別にこだわらず、何にでも挑戦してみたいと思うようになりました。

**Q.年間SAとして活動し、印象に残ったことありますか？**  
 印象に残った活動としては佳子内親王殿下との懇談とMIMOZA WAYS朗読劇です。佳子内親王殿下とお会いして話せるというとても貴重な機会でした。朗読劇では、台本から歴史の勉強もできました。劇の演技指導をしてくださった方は自分のスタイルを貫くかっこよい方で、お会いできて良かったと思います。



肖 俊彬

2015年6月 中国広州市執信中学(高校) 卒業  
 2019年6月 中国中山大學地理科学・計画学科 卒業  
 2022年3月 東北大学環境科学研究科先進社会環境学専攻 博士前期課程 修了  
 2022年4月～ 東北大学環境科学研究科先進社会環境学専攻 博士後期課程

～進路を選択する学生へのメッセージ～

やりたいことを心の声にしたがって決めてほしいです。周りの意見を聞くことも大切ですが、自分で調べて自分で判断して考えて行動してほしいです。やりたいことをあきらめると何十年後に後悔することがあるかもしれないので、自分にベストな選択をしてください。

先輩から後輩へのメッセージ

中澤 典子さん

2011年3月 京都共栄学園高等学校 卒業  
 2011年4月 東北大学歯学部 入学  
 2018年3月 東北大学病院 研修医(歯科医師)  
 2019年4月 東北大学大学院歯学研究科 入学  
 2020年3月 学際高等研究教育院 博士研究教育院生 採用  
 2023年3月 東北大学大学院歯学研究科 修了  
 2023年4月～ 行政職員(公衆衛生分野)



大西 悠貴さん

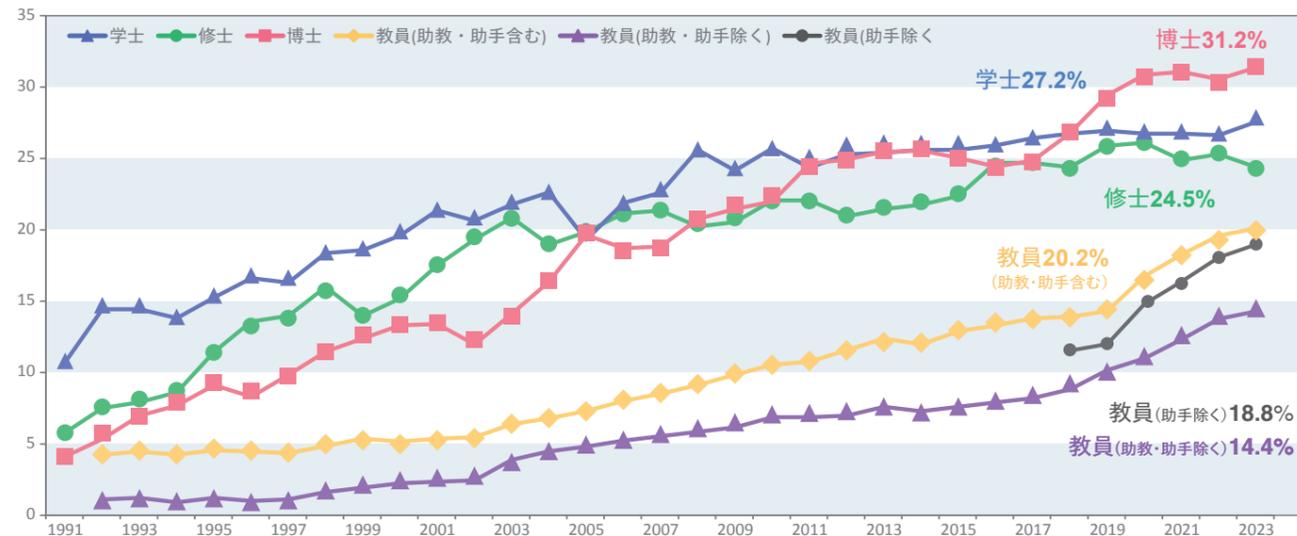
2014年3月 吉祥女子高等学校 卒業  
 2018年3月 東北大学工学部 情報知能システム総合学科 卒業  
 2020年3月 東北大学大学院情報科学研究科 システム情報科学専攻 博士前期課程 修了  
 2023年3月 東北大学大学院情報科学研究科 システム情報科学専攻 博士後期課程 修了  
 2023年5月～ シンガポールマネジメント大学博士研究員



5年間の活動を通じて、科学の面白さやその対面とオンライン双方での伝え方について沢山考える機会をいただきました。活動へ参加する中で、自分の経験が若い世代に伝わっていくことにやりがいを感じながら背筋が伸びる思いでした。SAは研究活動の延長でありながらサークルのよう一つ一つが楽しいと思いつつ居心地が良く、SAの皆さんと共に挑戦した一つ一つが思い出です。現役SAの皆さんにとっても学びの多い活動になりますように願っています。

SAでは、それぞれが専門分野を背負いながら、1つのものを作り上げるために共に力を尽くします。これは社会に出てからの活動と本質は変わりません。また、自身の活動の対象、目的、その先に期待するもの、これらを意識して人に話す癖がついたのも、SAの活動の賜物です。SAとしての活動は自分の"仕事"を多角的に見ることのできる大きなチャンスです。ぜひ積極的に活動し、SAとしての活動を未来に繋げていきましょう。

▶東北大学における教員・学生の女性比率



女性研究者が活躍できる環境があります

東北大学では「両立支援・環境整備」「女性リーダー育成」「次世代育成」を目的に、研究・教育と育児・介護等の両立のための支援要員派遣やベビーシッター利用料等の補助、女性研究者のスキルアップのための研究費などの支援事業を実施しています。また、教職員・学生を対象とした3つの学内保育園および病後児・軽症病児保育室が整備されています。

詳しくはDEI推進センターのWeb「サポートプログラム」をご覧ください。



SAのOGは国内外で幅広く活躍しています

▶大学・研究所・官公庁など  
 東北大学、九州大学、大阪大学、佐賀大学、国連大学、東京医科歯科大学、文部科学省、経済産業省、農林水産省、国土地理院、医薬品医療機器総合機構、日本原子力研究開発機構、国立極地研究所、科学捜査研究所、産業技術総合研究所、シカゴ大学(アメリカ)、IGB-Berlin(ドイツ)、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)、高校教員、県庁職員など

▶民間企業など  
 製薬、食品、自動車、通信、化粧品、医療機器、化学、繊維メーカーなど、多岐の分野にわたる国内外多数の企業に就いています。

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進基金へのご協力をお願い

東北大学では東北大学サイエンス・アンバサダー活動の充実や、各種男女共同参画・女性研究者支援事業の実施、学内保育園環境の充実等を行うための募金をお願いしております。

▶寄附の方法・特典などに関するお問い合わせ先

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部基金・校友事業室基金係)  
 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

TEL 022-217-5058・5905

E-mail kikin@grp.tohoku.ac.jp

URL http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/

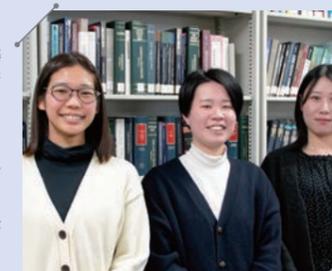


編集後記

この度は2023年度SA活動報告書作成に携わらせて頂き、心より感謝申し上げます。ともに企画・デザインから作成を行ったSAの山田さん、加藤さんをはじめ、DEI推進センターやデザイン会社の皆様スキルの高さが非常に勉強になりました。素晴らしい制作陣が携わった活動報告書で、東北大学女子学生誕生110周年の節目に大きく活躍のあった2023年度のSA活動をご紹介できれば幸いです。(写真左:横山裕香)

「SA活動報告書2023」をご覧いただきありがとうございます。私は、今年度で博士課程を修了するため、SA活動の集大成として今年度の報告書作成に携わらせていただきました。本報告書の作成は、この一年間の多彩な活動を振り返る大変貴重な機会となりました。インタビューやメッセージ寄稿にご協力いただいた皆様、DEI推進センターの皆様、そして、株式会社ユニグラフィックの皆様深く感謝申し上げます。(写真中央:山田 綾)

平素よりSA活動にご協力・ご理解いただきありがとうございます。SA1年生として、活動に参加させていただきました。科学の魅力を伝えることを目的に活動しておりますが、むしろ私の方が科学の魅力に気づかされた1年となりました。活動報告書を通してSA、そして科学に興味を持っていただければ嬉しいです。活動報告書作成にあたりご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。(写真右:加藤ひらり)



東北大学サイエンス・アンバサダーへのご依頼・お問い合わせ



東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進センター

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

E-mail dei-center@grp.tohoku.ac.jp

WEB https://dei.tohoku.ac.jp



2023年、日本で初めての女子大生が東北大学で誕生して110周年(文系女子学生入学100周年)を迎えました。



WEB



facebook



X(旧Twitter)